

1. 沖縄の酒類製造業の振興策に関する検討会

検討事項

泡盛製造業の自立経営の確立に向けた方策を酒造所の規模等のタイプ別に検討
特に泡盛の販路拡大に向けた戦略を検討

検討員

小泉 武夫	東京農業大学名誉教授(座長)
下地 芳郎	琉球大学教授
出口 尚	経済アナリスト
長谷川 浩一	(株)はせがわ酒店代表取締役社長
花牟礼 真一	三井物産(株)那覇支店長
浜野 京	信州大学理事 (内閣府知的財産戦略推進事務局政策参与)
安田 正昭	琉球大学名誉教授
結城 摂子	マンダリン工房・フードコーディネーター
渡邊 賢一	(一社)元気ジャパン代表理事 (敬称略)

開催日程

第1回検討会(4月25日(火)・東京)
・泡盛業界の現状・課題及びこれまでの振興策等
・泡盛業界の経営に関する現状と課題
・酒造所からのヒアリング
・意見交換
第2回検討会(5月24日(水)・沖縄)
・意見交換
第3回検討会(6月20日(火)・東京)
・中間まとめ(素案)について

中間まとめ(平成29年6月28日)

泡盛振興のための今後の取組のうち海外展開に資するものを抜粋

- ・ 空港でイベントの実施やワゴンでの販売、ホテルでウエルカムドリンクとしての提供
- ・ デジタルマーケティングによる対象の分析と映像を用いた広報の実施の検討
国際的なブランドである「空手」
琉球料理、「仕次ぎ」や酒器なども含めた高い文化的、歴史的価値などの可視化
- ・ 沖縄観光の一分野としての「酒蔵ツーリズム」の実施(他業界との連携)の検討
- ・ 海外展開に向け取り組む小規模酒造所に対する支援策の検討
(例:バイヤー・業界関係者の招へい、見本市・商談会等への参加、専門家による支援、政策金融の制度活用など)

2 . 沖縄の酒類製造業自立経営促進事業（平成30年度予算要求【新規】52百万円）

趣旨・目的

泡盛製造業は、製造業の少ない沖縄における貴重な地場産業であり、離島を含む沖縄の地域経済や雇用を支える重要な産業であるが、泡盛出荷量は12年連続で減少するなど厳しい状況に置かれている。

このため、泡盛製造業の自立的経営の促進に向け、「未来投資戦略2017 Society 5.0 の実現に向けた改革」(平成29年6月9日閣議決定)も踏まえ、泡盛酒造所が行う海外展開等の取組を後押しするモデル事業を実施する。

概要

(1) 事業内容

海外への販路開拓などに向けた先導的・モデル的な事業の実施を泡盛酒造所に委託し、その取組結果、ノウハウ等を公表することにより、泡盛製造業全体として海外展開の動きの促進を図る。

(2) 平成30年度概算要求額:52百万円

(平成29年度予算額:0百万円)

(3) 委託先:民間企業等

(4) 調査期間:平成30年度～